



未解決の問題

Cisco バグ検索ツールを使用して、未解決の問題、解決済みの問題、およびセキュリティ修正を表示できます。

- Cisco UCS X シリーズ M8、M7、M6 6.0(2.260069)、および C シリーズ M8、M7、M66.0(2.260069)、および B シリーズ M6 6.0(2.260069) サーバ ファームウェア リリースの未解決の不具合 (2 ページ)
- Cisco UCS B シリーズ M5 6.0(1.260012) サーバ ファームウェア リリースで未解決の問題：なし (2 ページ)
- Cisco UCS X シリーズ M8、M7、M6 6.0(2.260040)、XE シリーズ M8 6.0(2.260042)、C シリーズ M8、M7、M6 6.0(2.260044)、および B シリーズ M6 6.0(2.260040) サーバ ファームウェア リリースの未解決の問題 (2 ページ)
- XE シリーズ M8 サーバ ファームウェア リリース 6.0(1.260001) の未解決の問題：なし (6 ページ)
- Cisco UCS C シリーズ サーバ M8 ファームウェア リリース 6.0(1.250194) の未解決の問題：なし (6 ページ)
- X シリーズ M8 6.0(1.252114) および C シリーズ M8 6.0(1.250192) サーバ ファームウェア リリースの未解決の問題 (6 ページ)
- XE シリーズ M8 サーバ ファームウェア リリース 6.0(1.251030) の未解決の問題 (7 ページ)
- X シリーズ M8 サーバ ファームウェア リリース 6.0(1.252039) の未解決の問題：なし (10 ページ)
- Cisco UCS X シリーズ M8、M7 6.0(1.250162)、M6、B シリーズ M6、M56.0(1.250157) および C シリーズ M8、M7、M6 6.0(1.250174) サーバ ファームウェア リリースの未解決の問題：なし (10 ページ)
- Cisco UCS X シリーズ M8、M7 6.0(1.250122)、M6、B シリーズ M6、M56.0(1.250127) および C シリーズ M8、M7、M6 6.0(1.250131) サーバ ファームウェア リリースで未解決の問題：なし (10 ページ)
- Cisco UCS X シリーズ M8、M7 6.0(1.250120)、M6、B シリーズ M6、M56.0(1.250126) および C シリーズ M8、M7、M6 6.0(1.250127) サーバ ファームウェア リリースの未解決の問題 (10 ページ)

Cisco UCS X シリーズ M8、M7、M6 6.0(2.260069)、および C シリーズ M8、M7、M66.0(2.260069)、および B シリーズ M6 6.0(2.260069) サーバー ファームウェア リリースの未解決の不具合

このセクションでは、未解決の問題について簡単に説明します。

不具合 ID	説明	回避策	影響を受ける最初のバージョン
CSCws49799	Cisco UCS C シリーズ サーバーでは、ESXi 9 での仮想マシン (VM) 操作中にホットプラグした後、アウトオブバンド (OOB) インターフェイスでドライブが誤って劣化として報告される場合があります。この問題は、システムが特定の NVMe-MI コマンド応答を適切に処理できず、不正確な評価指標と、物理ドライブの再装着後もクリアされない永続的な誤った正常性アラートが発生するために発生します。	この問題の直接的な回避策はありません。この問題は、システムがデバイスの応答を処理する方法を強化するコードの改善によって対処されています。	C シリーズ : 6.0 (2.260068)

Cisco UCS B シリーズ M5 6.0(1.260012) サーバ ファームウェア リリースで未解決の問題 : なし

Cisco UCS X シリーズ M8、M7、M6 6.0(2.260040)、XE シリーズ M8 6.0(2.260042)、C シリーズ M8、M7、M6 6.0(2.260044)、および B シリーズ M6 6.0(2.260040) サーバー ファームウェア リリースの未解決の問題

このセクションでは、未解決の問題について簡単に説明します。

不具合 ID	説明	回避策	影響を受ける最初のバージョン
CSCwt18924	VIC 1467 アダプタを搭載した Cisco UCS C220 M6 サーバでは、アップストリーム ACI スイッチをアップグレードして再起動すると、メモリ不足エラーによる致命的なクラッシュが発生します。物理インターフェイスは起動しますが、vNIC は初期化状態のままになり、自動的に回復しません。アダプタログには、致命的なエラーからのリセットが示されます。	サーバーを再起動して vNIC 接続を復元します。	4.3(5.250030)
CSCwt34436	Cisco Unified Edge サーバー (UCSXE-130C-M8-20、UCSXE-130C-M8-32) では、サーバーインベントリ完了の待機 タスクでサーバー検出ワークフローが失敗します。この問題は、Unified Edge のアップグレード後に発生し、インベントリ収集 タスクでサーバー検出ワークフローが停止し、4 台のサーバーのうち 3 台に影響を及ぼします。	サーバーの検出を正常に完了するには、個々のサーバーで「再検出」を手動で開始します。	6.0(2.260042)
CSCws19521	UCSX-X10C-PT4F コントローラを搭載した Cisco UCS x210C M8 サーバの 6.0 (2.260040) より前のリリースへのサーバーファームウェアのダウングレードは、複雑なプログラマブルロジックデバイス (CPLD) のファームウェアバージョンの不一致により失敗します。	HFP から CPLD コンポーネントを除外します。	6.0(2.260040)

不具合 ID	説明	回避策	影響を受ける最初のバージョン
CSCwt42347	ホスト ファームウェア パッケージ (HFP) をリリース 4.3 (2) から 6.0 (2) にアップグレードする際、UCSX-X10C-RAIDF コントローラを搭載した Cisco UCS X シリーズ サーバでは、ハードウェア構成を確認するための準備の段階で障害が発生し、結果としてユニファイド BIOS 管理 (UBM) アップグレードがハングします。ファームウェアの更新プロセスが完了せず、BMC ログには更新プロセスが無限に実行されていることが示されます。	既知の回避策はありません。 この問題は、UBM ファームウェアの更新が必要な場合に発生します。UBM コンポーネントは、UCSX-X10C-RAIDF コントローラにのみ影響します。UBM 部品を含む他のメザニンカードには影響しません。	6.0(2.260040)

不具合 ID	説明	回避策	影響を受ける最初のバージョン
CSCwb41941	Cisco UCS C220 および C240 M8 サーバでは、Intel Secondary Service Processor (SSP) 2.0 を使用するファームウェアバージョンは SSP 1.6 を使用する以前のリリースとの下位互換性がありません。 SSP 2.0 をサポートするファームウェアバージョンは、4.3 (6.260003)、6.0 (1.250192)、および 6.0 (2.260044) 以降です。 以前のバージョンにダウングレードすると、ベースボード管理コントローラ(BMC)がBIOS構成証明に失敗し、重要なシステムが不安定になります。 症状には、KVM コンソールでシステムがスタックする、起動の失敗、POST のハング、致命的なエラー (CATERR) イベント、動作不能の NVMe デバイス、重大な温度しきい値のエラーを伴う温度センサーの障害などがあります。	以前のファームウェアバージョンにダウングレード、BMC に障害が発生した場合は、次の回復手順を使用します。 1. BMC ファームウェアのアップグレード: ホストソフトウェアアップグレード(HSU)または Cisco IMC インターフェイスを使用して、BMC ファームウェアコンポーネントのみを最新バージョン (SSP 2.0 互換) にアップグレードします。 2. ホスト電源リセットの実行: ホストの電源を完全にリセットすると、システム状態の回復に役立つ場合がありますが、すべてのシナリオで 100% の効果があるとは限りません。	6.0(2.260044) 6.0(1.250192) 4.3(6.260003)

不具合 ID	説明	回避策	影響を受ける最初のバージョン
CSCwb35920	スペアとして出荷された特定の RTX Pro 6000 GPU では、ファームウェア更新が失敗し、古いファームウェアバージョンのままになる場合があります。この問題は、特定のスペアユニットに限定され、更新プロセス全体には影響しません。	既知の回避策はありません。	X シリーズ : 6.0(2.260040) XE シリーズ : 6.0(2.260042) C シリーズ : 6.0(2.260044) B シリーズ : 6.0(2.260040)

XE シリーズ M8 サーバ ファームウェア リリース 6.0(1.260001) の未解決の問題 : なし

Cisco UCS C シリーズ サーバ M8 ファームウェア リリース 6.0(1.250194) の未解決の問題 : なし

X シリーズ M8 6.0(1.252114) および C シリーズ M8 6.0(1.250192) サーバ ファームウェア リリースの未解決の問題

このセクションでは、未解決の問題について簡単に説明します。

不具合 ID	説明	回避策	影響を受ける最初のバージョン
CSCwr82017	Cisco UCS X210c M8、C220 M8、および C240 M8 サーバでは、Intel SGX を有効にし、システム メモリ 設定で PRMRR サイズをサポートされていない値に設定すると、システムが継続的に再起動します。サポートされていないサイズが構成された時のみにこの問題が発生します。	Intel SGX を有効にする場合は、PRMRR サイズをサポートされている値に設定してください。	X シリーズ M8 : 6.0(1.252114) C シリーズ M8 : 6.0(1.250192)

XE シリーズ M8 サーバファームウェア リリース 6.0(1.251030) の未解決の問題

このセクションでは、未解決の問題について簡単に説明します。

不具合 ID	説明	回避策	影響を受ける最初のバージョン
CSCwr05911	Cisco Unified Edge サーバでは、ホストの電源がオフになると、IMM インベントリ ページには、LOM-NIC-1 インターフェイスが eCMC:A で up と表示されるが、eCMC:B で down と表示されます。この不整合は、ホストの電源がオフのときにのみ発生します。この問題による機能への影響はありません。	既知の回避策はありません。	6.0(1.251030)

不具合 ID	説明	回避策	影響を受ける最初のバージョン
CSCwr63339	Cisco Unified Edge サーバでは、ランタイム時にシャーンが不十分な電源状態になった場合（ノードの BMC がすでに起動した後）、前面パネルの物理電源ボタンを使用して CPU に電力を供給できます。これにより、特定のログ/イベントで示されているように、そのノードの BMC が不安定になる可能性があります。この問題は、サーバーが起動する前にシャーンがすでに電力不足状態になっている場合は発生しません。	電力使用量が高くなっているノードを削除するか、ワット数の高い電源ユニット（PSU）にアップグレードして十分な電力を供給できます。	6.0(1.251030)
CSCwr88145	Cisco UCS XE M8 サーバでは、ポート速度が 1 Gbps に設定されている場合、ネットワークケーブルが外された後でも、2x10G 前面ポート（FP）の LED は点灯したままです。 LED は、サーバの完全な電源再投入後にのみ消灯します。	1 Gbps ポートからケーブルを外した後、サーバーを再起動して LED を消灯します。	6.0(1.251030)

不具合 ID	説明	回避策	影響を受ける最初のバージョン
CSCwr04128	Cisco Unified Edge サーバーでは、Intersight ワークフローでサーバー検出が断続的に失敗し、「Adapter model CPUIntegratedNIC is not supported」というエラーメッセージが表示されます。この問題は時々発生し、すべての検出試行には影響しません。	解決するには、このエラーが表示されたときに検出プロセスを再度開始します。	6.0(1.251030)
CSCwd72323	非常にまれな内部CPUの問題が原因で、コンピューティングスレッドの電源オフに失敗する場合があります。電源オフプロセス中に、CPUはSLP4_NおよびSLP3_Nの信号を低く設定しないため、システムの電源がオフになりません。IMMを介した手動で電源操作を行うと、ホストの電源を設定できませんでした、またはタイマーが期限切れになりましたなどのエラーが返される場合があります。この問題は次のACサイクルまで維持されます。	通常の動作を復元するには、コンピューティングスレッドのACサイクルを実行します： 1. Intersight にログインします。 2. 統合 Edge > 統合 Edge シャーシへの移動 3. 右側のアクション ドロップダウンメニューを開きます 4. 電源の再投入に関するユニファイド Edge スロットをクリックし、サーバのスロット番号を入力して、電源の再投入ボタンを押します。 システムは数分後に動作可能になります。	6.0(1.251030)

X シリーズ M8 サーバファームウェア リリース 6.0(1.252039) の未解決の問題 : なし

Cisco UCS X シリーズ M8、M7 6.0(1.250162)、M6、B シリーズ M6、M5 6.0(1.250157) および C シリーズ M8、M7、M6 6.0(1.250174) サーバファームウェア リリースの未解決の問題 : なし

Cisco UCS X シリーズ M8、M7 6.0(1.250122)、M6、B シリーズ M6、M5 6.0(1.250127) および C シリーズ M8、M7、M6 6.0(1.250131) サーバファームウェア リリースで未解決の問題 : なし

Cisco UCS X シリーズ M8、M7 6.0(1.250120)、M6、B シリーズ M6、M5 6.0(1.250126) および C シリーズ M8、M7、M6 6.0(1.250127) サーバファームウェア リリースの未解決の問題

このセクションでは、未解決の問題について簡単に説明します。

不具合 ID	説明	回避策	影響を受ける最初のバージョン
CSCws30219	Cisco UCS M7 サーバは、ECC（エラー訂正コード）メモリエVENTによってトリガーされたホストロックアップの影響を受けます。 これは、エラー状態時にサーバの BIOS が EFI（Extensible Firmware Interface）と通信する仕組みに特に関連しています。これらのイベント中、BIOS は必要な変数を正しく取得せず、EFI は無効なパラメータを返します。その結果、オペレーティングシステムは通常の動作を続行できず、エラーをログに記録せずにフリーズします。これが発生すると、ホストは応答しなくなり、KVM（キーボード、ビデオ、マウス）入力を受け入れられません。 シングルビット ECC エラー（DDR5 仕様によりログは記録されません）がこの状態をトリガーする可能性があり、その結果、ホストの応答性が完全に失われます。	サーババンドルをダウングレードします： • X シリーズサーバの場合は、サーババンドルをバージョン 5.4（0.250040）またはそれ以前のリリースにダウングレードします。 • C シリーズサーバの場合は、サーババンドルをバージョン 4.3（6.250044）またはそれ以前のリリースにダウングレードします。	X シリーズ M7:5.4（0.250048） C シリーズ M7:4.3（6.250053）

不具合 ID	説明	回避策	影響を受ける最初のバージョン
CSCwq61388	CIMC 4.3.5 以降を実行している Cisco UCS C シリーズ M6 サーバーで、複数の NVME ドライブがある状態で BIOS の VMD を有効にすると、ストレージサブシステムの初期化が 15 分を超え、Intersight サーバー プロファイルの展開が失敗する可能性があります。VMD を無効にするか、ドライブの数を減らすと、問題を解決できます。以前のファームウェアバージョンは影響を受けません。	• VMD が必要ない場合は、VMD を無効にします。 • VMD を無効にすることが不可能な場合は、セットアップで最小数の NVME ドライブを使用します。ドライブが増えるとシステムのスタートアップが遅くなるためです。	4.3(5.250001)
CSCwm33093	マイクロチップベースのストレージカードでは、ファームウェアはパフォーマンスを最適化するためにドライブの割り当てを自動的に変更し、管理ツールからのユーザー設定を無視するので、すべてのディスクがオンラインの場合でも、仮想ドライブ (VD) は「動作不能」として表示されます。	arcconf の出力により、スパン内のドライブの割り当てを確認します。パフォーマンスを向上させるために、ファームウェアが管理ツールの設定を上書きする場合があります。	4.3(5.240134)

不具合 ID	説明	回避策	影響を受ける最初のバージョン
CSCwq17020	UCSX-X10C-RAIDF コントローラ の背後に 3.8TB 以上の容量の U3 Micron ドライブを JBOD モードで取り付けた後、EFI ブートイメージのロードに関連する BIOS エラーが原因で Linux OS が起動に失敗します。 この問題は、特に Intel® プロセッサを搭載した Cisco UCS X シリーズ M8 サーバーで発生し、複数の Linux ディストリビューションに影響します。ドライブを RAID 0 で構成した場合、この問題は発生しません。 Microsoft Windows® および Linux OS は、より小容量のドライブを使用した場合や RAID 0 を使用した場合、正常に起動します。	RAIDで構成されたドライブにOSをインストールします。	X210c:5.4 (0.250037) X215c:5.4 (0.250035)

Cisco UCS X シリーズ M8、M7 6.0(1.250120)、M6、B シリーズ M6、M56.0(1.250126) および C シリーズ M8、M7、M6 6.0(1.250127) サーバファームウェア リリースの未解決の問題

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。